※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

高齢運転者の交通事故発生状況
令和6年中

1　高齢運転者事故の発生状況

令和６年中の高齢運転者（65歳以上の運転者）が第１当事者となった人身交通事故（一般原付以上）は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数ともに増加しましたが、死者数は減少しました。

【高齢運転者事故発生状況】　（令和６年中）

区　分		発生件数	死亡事故		負傷者数		
			件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年		1,062	12	12	120	1,145	1,265
前年		1,036	14	14	128	1,119	1,247
増減	数	26	−2	−2	−8	26	18
	率	2.5	−14.3	−14.3	−6.3	2.3	1.4

【高齢運転者死亡事故発生状況】　（令和６年中）

No.	発生年月日等											第１当事者（高齢運転者）		第２当事者		
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	事故類型	死亡	種別	高齢者	死亡	種別
1	6	1	2	17	火	夜	晴	角田市梶賀	市道	直線	人対四輪	−	軽乗	◎	◎	歩行者
2	6	3	19	14	火	昼	晴	気仙沼市本吉町	国道	直線	四輪対四輪	−	普乗	−	−	軽乗 ※
3	6	5	22	20	水	夜	晴	白石市犬卒都婆荻窪尻	国道	カーブ	四輪車単独	◎	軽乗	−	−	−
4	6	5	29	13	水	昼	晴	気仙沼市松崎浦田	県道	直線	四輪対四輪	−	普乗	◎	◎	軽貨
5	6	7	11	15	木	昼	晴	大崎市岩出山	国道	直線	二輪車単独	◎	自二	−	−	−
6	6	8	2	11	金	昼	晴	栗原市志波姫	市道	直線	四輪車単独	◎	小特	−	−	−
7	6	8	19	10	月	昼	晴	仙台市青葉区角五郎	市道	交差点	人対四輪	−	軽貨	◎	◎	歩行者
8	6	10	2	5	水	夜	晴	仙台市宮城野区榴岡四丁目	市道	交差点	人対四輪	−	軽乗	−	◎	歩行者
9	6	10	6	7	日	昼	雨	利府町加瀬	県道	直線	四輪対四輪	◎	普乗	−	−	中貨
10	6	10	10	18	木	夜	晴	角田市梶賀	市道	交差点	二輪対四輪	◎	原付	−	−	軽乗
11	6	11	24	12	日	昼	晴	大郷町東成田	県道	直線	四輪対四輪	◎	軽乗	−	−	普乗
12	6	11	29	9	金	昼	晴	大崎市古川穂波	市道	直線	四輪車単独	◎	軽乗	−	−	−

※は同乗者が死亡

2　高齢運転者事故の発生推移（基礎データ平成27年～令和６年）

発生件数は、平成29年から減少傾向ですが、令和４年及び令和６年は増加しました。

全人身交通事故が10年間で56.1%減少（平成27年8,624件→令和６年3,785件。−4,839件）しているのに対し、高齢運転者事故は 30.8%の減少（平成27年1,534件→令和６年1,062件。−472件）にとどまっています。

全人身交通事故に占める高齢運転者事故の割合は増減を繰り返しながら上昇傾向が続いており、令和６年は前年より増加しました。

区　分	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
交通事故発生件数	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033	3,785
高齢運転者事故件数	1,534	1,603	1,500	1,458	1,294	1,148	1,002	1,076	1,036	1,062
占める割合	17.8	20.1	20.0	21.4	22.8	25.6	23.4	26.1	25.7	28.1
死者数	21	17	17	16	12	14	13	13	14	12
負傷者数	1,931	2,014	1,811	1,752	1,565	1,402	1,148	1,271	1,247	1,265
死傷者数	1,952	2,031	1,828	1,768	1,577	1,416	1,161	1,284	1,261	1,277

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

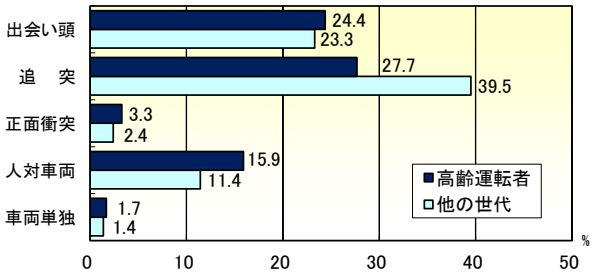
3　高齢運転者事故の発生特徴等（基礎データ令和６年中・第１当事者が一般原付以上の人身交通事故）

(1)　追突、出会い頭事故で約5割を占める

事故類型別では、追突事故の構成率が27.7%（1,062件中294件）と最も高くなりましたが、他の世代と比較すると低い割合となりました。次いで出会い頭事故の構成率が24.4%（259件）と高く、他の世代と比較して1.1ポイント高くなりました。

また、人対車両事故の構成率が15.9%（169件）で、他の世代と比較して高くなりました。

【事故類型別発生状況(構成率)】



(2)　交差点、駐車場等の構成率が他の世代より高い

道路形状別では、交差点の構成率が43.0%（1,062件中457件）で、他の世代と比較して2.0ポイント高くなりました。

また、店舗や病院の駐車場等「一般交通の用に供するその他の場所」の構成率が8.9%（95件）で、他の世代と比較して4.5ポイント高くなりました。

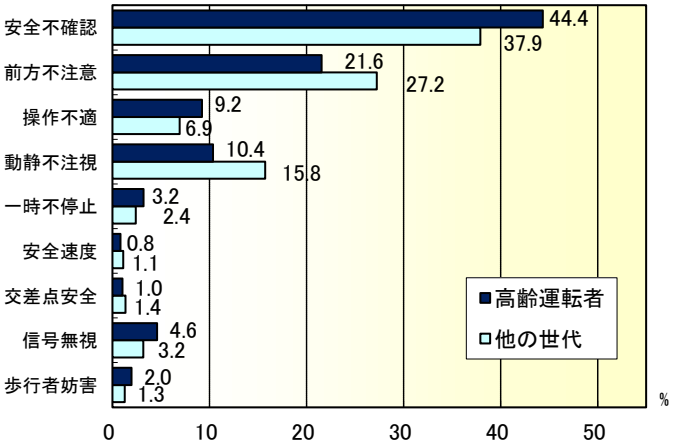
駐車場等での事故の行動別では、後退時が47.9%（95件中46件）で最も高くなりました。

なお、駐車場等でのアクセルとブレーキの踏み違いやギアの入れ違い等の操作不適による事故は10件発生しました。

【道路形状別発生状況(構成率)】

区　分	交差点	交差点付近	直線	カーブ	駐車場等	その他	計
高齢運転者	43.0	14.2	32.0	1.8	8.9	0.0	100.0
他の世代	41.0	16.1	36.1	2.4	4.4	0.0	100.0
差	2.0	-1.9	-4.1	-0.6	4.5	0.0	-

【違反別発生状況(構成率)】



(4)　免許人口に対する事故率が高い（基礎データ令和２年～令和６年）

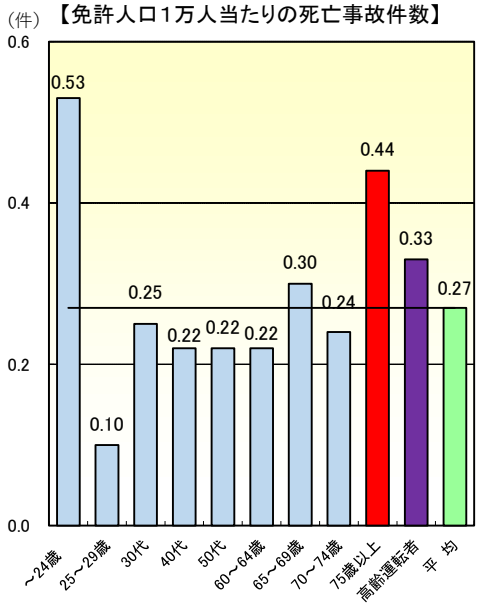
免許人口１万人当たりの、第１当事者（一般原付以上）の年代別死亡事故発生件数は、１年間当たり高齢運転者が0.33件で、全年代平均（0.27件）の1.22倍となりました。

特に、75歳以上の運転者は0.44件と、全年代平均の1.63倍、74歳以下の運転者（0.25件）の1.76倍に達しました。

【免許人口1万人当たりの死亡事故件数(令和2年～令和6年 5年間)】

第1当年齢	免許人口	事故件数	免許人口1万人当たり(年に換算)		
				平均との差	同 倍 率
～24歳	102,368	27	0.53	0.26	1.96
25～29歳	95,748	5	0.10	-0.17	0.37
30歳代	222,109	28	0.25	-0.02	0.93
40歳代	293,778	33	0.22	-0.05	0.81
50歳代	296,748	32	0.22	-0.05	0.81
60～64歳	128,875	14	0.22	-0.05	0.81
65～69歳	126,780	19	0.30	0.03	1.11
70～74歳	124,420	15	0.24	-0.03	0.89
75歳～	144,175	32	0.44	0.17	1.63
(高齢運転者)	395,375	66	0.33	0.06	1.22
計(平均)	1,535,001	205	0.27	0.00	1.00

【免許人口1万人当たりの死亡事故件数】



宮城県警察本部交通企画課